

レファレンスコード	20040514A
記述レベル	個人・関連団体文書／教員個人文書
文書群名	小川正孝資料
原蔵者	小川正孝(おがわ まさたか、1865-1930)は、愛媛県出身の科学者。東京帝国大学卒業後、ロンドンへの留学などを経て、1911年に東北帝国大学理科大学の教授となり、1919-28年に第4代総長として、工学部や金属材料研究所などを創設した。1908年に新元素を発見したと発表し、ニッポニウムと名付けたが、幻の発見に終わったことでも知られている(現在では、レニウムだったと考えられている)。
内容	文書に限定されず、ニッポニウム関係の器具や試料などを含む。
年代	1921年～2013年
数量・編成	ニッポニウム関係資料13点と、その他7点を加えた20点。
伝来	2004年に、吉原賢二名誉教授を介し、御遺族から受領。
データ公開日	2018年3月30日
公開条件	当館利用規則に基づき公開いたします(要審査史料を含みます)。
利用・複写条件	原本を閲覧していただきます。複写は写真撮影のみで、電子複写はできません。

小川 正孝 資料

20040514A

請求記号	表題	作成年代	作成者	受取	数量	概要	備考
1	Henry L' Chatelier 記念プレート	1921年ごろか		小川正孝か	1点	フランスの化学者Henry L' Chatelierの70歳記念に作成された真鍮製のレリーフ。箕作新六が1919～22の留学の際、小川に土産として渡したものか。	
2	X線スペクトル写真乾板	1930年か	小川正孝		1点	X線スペクトルの読解によりニッポニウムの測定を行ったもの。領収書と納品書と一緒に保存。小川英次郎遺品と一緒にあったもの。	
3	領収書・納品書	1970年11月8日	総合寝具 鈴屋	小川	2枚	カーテン購入時のもの。写真乾板と一緒に保存。	
4	ニッポニウム関係資料 ガラス器具	年未詳	小川正孝か		3点		
5+	ニッポニウム関係資料 試薬・合成品						
5-1	Ru	年未詳			1点		
5-2	H ₂ IvI ₆ ・6H ₂ O	1930年2月4日			1点		
5-3	[不明]	年未詳			1点		
5-4	CsPIHI ₄ Pr	1930年2月4日			1点		
5-5	K ₃ Iv(NO ₂) ₆	1927年			1点		
5-6	Pr ₂ H ₂ IvI ₅ Pr(粗2)	1930年2月4日			1点		
5-7	Pr・Pr ₂ H ₂ IvI ₅ Pr	1930年2月4日			1点		
5-8	IvCl ₄ Pr ₂	1929年2月18日			1点		
5-9	trans PrHIvI ₅ Pr	1930年2月4日			1点		
5-10	H ₂ IvCl ₅ Pr	1929年2月18日			1点		
5-11	Pr ₂ H ₂ IvCl ₆	1929年2月16日			1点		
5-12	K ₂ IvB ₆	1927年			1点		
5-13	[IvOH ₄ Pr ₂ IvCl ₄]HPr	1930年2月4日			1点		
6	鉱物サンプル	年未詳	小川正孝か		1点	①セイロン制トリアナイト(岐阜中津川鉱物博物館) ②エトロフ産硫化レニウム ③岩手大川目産モリブデナイトのサンプル	
7	ルツボ	年未詳			2点	銀製のルツボ。小川が晩年に使用したもの。	
8	日本化学会化学遺産認定証	2013年3月23日	日本化学会 会長 玉尾 皓平	東北大学	1点	小川正孝のニッポニウム研究資料を日本化学会化学遺産に認定するもの。	